



2014年度第2四半期決算概要

株式会社 **MonotaRO**

www.monotaro.com



事業概要と特長・差別化戦略



主な事業内容

インターネット等を利用した工場・工事用間接資材、自動車アフターマーケット商品の通信販売
(商品点数：700万点・うち12.6万点が在庫商品)



販売商品の特徴

種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要



従業員数

【連結】 正社員 222名 アルバイト・派遣社員 636名



主な競合

訪問工具商・金物屋・自動車部品商、インターネット通販サイト等



主な顧客層

製造業・工事業・自動車整備業等(中小企業が中心顧客)



市場規模

5～10兆円



経営戦略

- ①インターネットを活用した通信販売で規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化を図る
- ②累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客の囲い込みを図る
- ③自社にてのソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性をあげる



課題

- ◆当社が提供するサービス・利便性に対して市場での一層の認知を得ること
- ◆成長を先取りするインフラストラクチャーを構築すること

2014/第2四半期 決算の概要

【(株)MonotaRO単体】


2014年度第2四半期 損益計算書サマリー

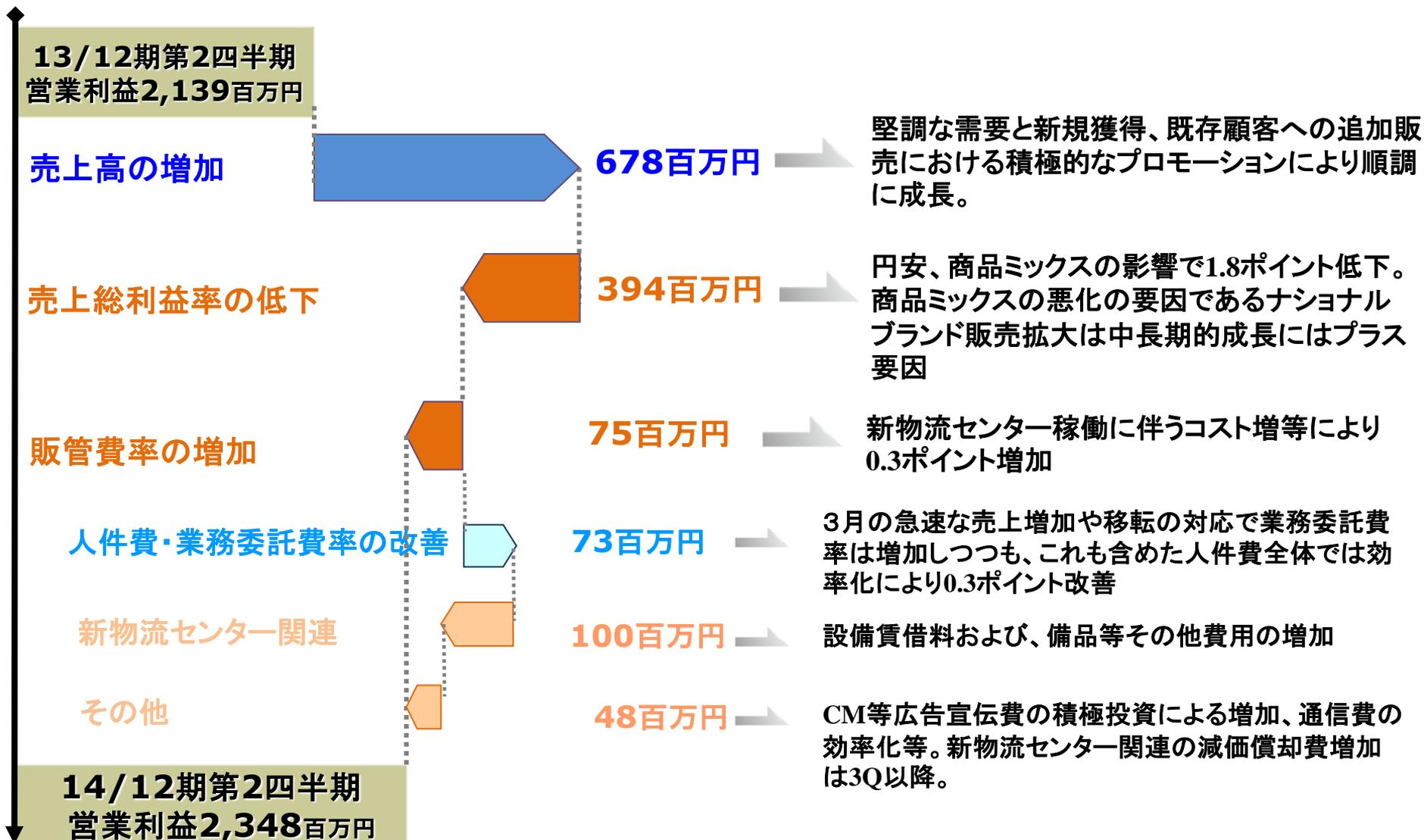
	2013年_2Q累計		2014年_2Q累計		
	金額 (百万円)	売上高 比率	金額 (百万円)	売上高 比率	前年 同期比
売上高	15,982		21,051		+31.7%
売上総利益	4,914	30.7%	6,078	28.9%	+23.7%
販売管理費	2,774	17.4%	3,730	17.7%	+34.4%
営業利益	2,139	13.4%	2,348	11.2%	+9.8%
経常利益	2,158	13.5%	2,372	11.3%	+9.9%
当期純利益	1,403	8.8%	1,467	7.0%	+4.6%


2014年度第2四半期 貸借対照表サマリー

		2013年	2013年	2014年6月	
		6月	12月	(百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	3,068	4,158	2,531	16.4%
	売掛金	3,087	3,757	4,138	26.9%
	棚卸資産	3,160	3,211	3,936	25.6%
	その他	1,233	1,395	1,563	10.2%
流動資産合計		10,550	12,522	12,169	79.1%
固定資産	有形固定資産	163	388	999	6.5%
	無形固定資産	783	820	906	5.9%
	投資その他資産	602	911	1,317	8.6%
固定資産合計		1,549	2,120	3,223	20.9%
資産合計		12,099	14,643	15,393	

		2013年	2013年	2014年6月	
		6月	12月	(百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	2,171	2,666	2,624	17.1%
	短期借入金	1,300	1,300	1,300	8.4%
	その他	1,708	2,787	2,283	14.8%
流動負債合計		5,179	6,753	6,208	40.3%
固定負債合計		147	359	506	3.3%
負債合計		5,326	7,113	6,715	43.6%
純資産の部					
株主資本合計		6,709	7,456	8,605	55.9%
新株予約権		63	73	72	0.5%
純資産合計		6,773	7,530	8,677	56.4%
負債・純資産合計		12,099	14,643	15,393	

営業利益の増減要因分析





2014年度第2四半期 決算の概略

- ◆ 売上
 - ・前年同期比31.7%の増加
 - ・新規獲得ペースは月間23,000件、前年同期比+18%
 - ・堅調な需要を背景に、新規NB商品投入等により既存顧客への追加販売も順調に進捗
 - ・当初計画を5.8%上回る事となった要因は以下の3点
 - ①3月の増税前および決算に伴う需要の拡大
 - ②新規NB商品の販売が当初想定以上に拡大
 - ③4Qに計画していた米国からのロイヤリティ収入が四半期ごとの計上となり
下期計画の収益が前倒しされた

- ◆ 売上総利益
 - ・前年同期比23.7%の増加
 - ・売上総利益率はほぼ想定どおり。円安およびNB商品販売拡大による商品ミックスの影響で昨年同期比1.8ポイント低下。

- ◆ 販売管理費
 - ・前年同期比34.4%の増加
 - ・新センター設立に伴う設備賃借料、業務委託費等の増加により売上比は前年同期比0.3ポイント増加

- ◆ 営業利益
 - ・上記により前年同期比9.8%増



2014年度第2四半期 決算の概略

【貸借対照表項目】

◆棚卸資産

物流センター移転に伴い新旧センター二重稼働の為の在庫積み増しの影響。
期末に向けて在庫点数を増加させるものの、金額ベースは漸減の見込み。

【キャッシュフロー】(P21連結CF参照)

◆営業CF

今期営業CFはマイナスとなるが、上記棚卸資産等一時的要因の影響が大きい。

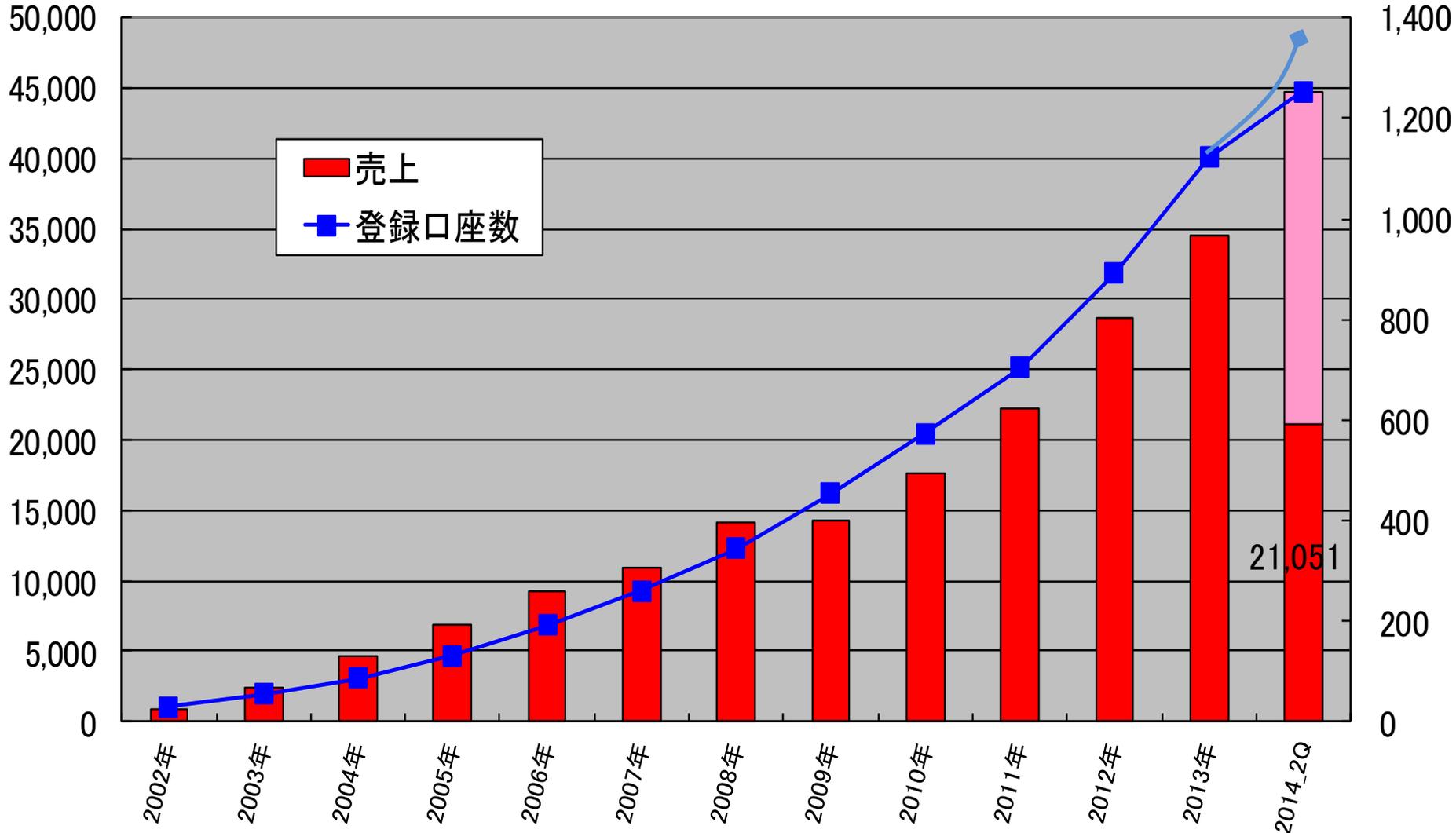


【(株)MonotaRO単体】売上高と顧客数の推移



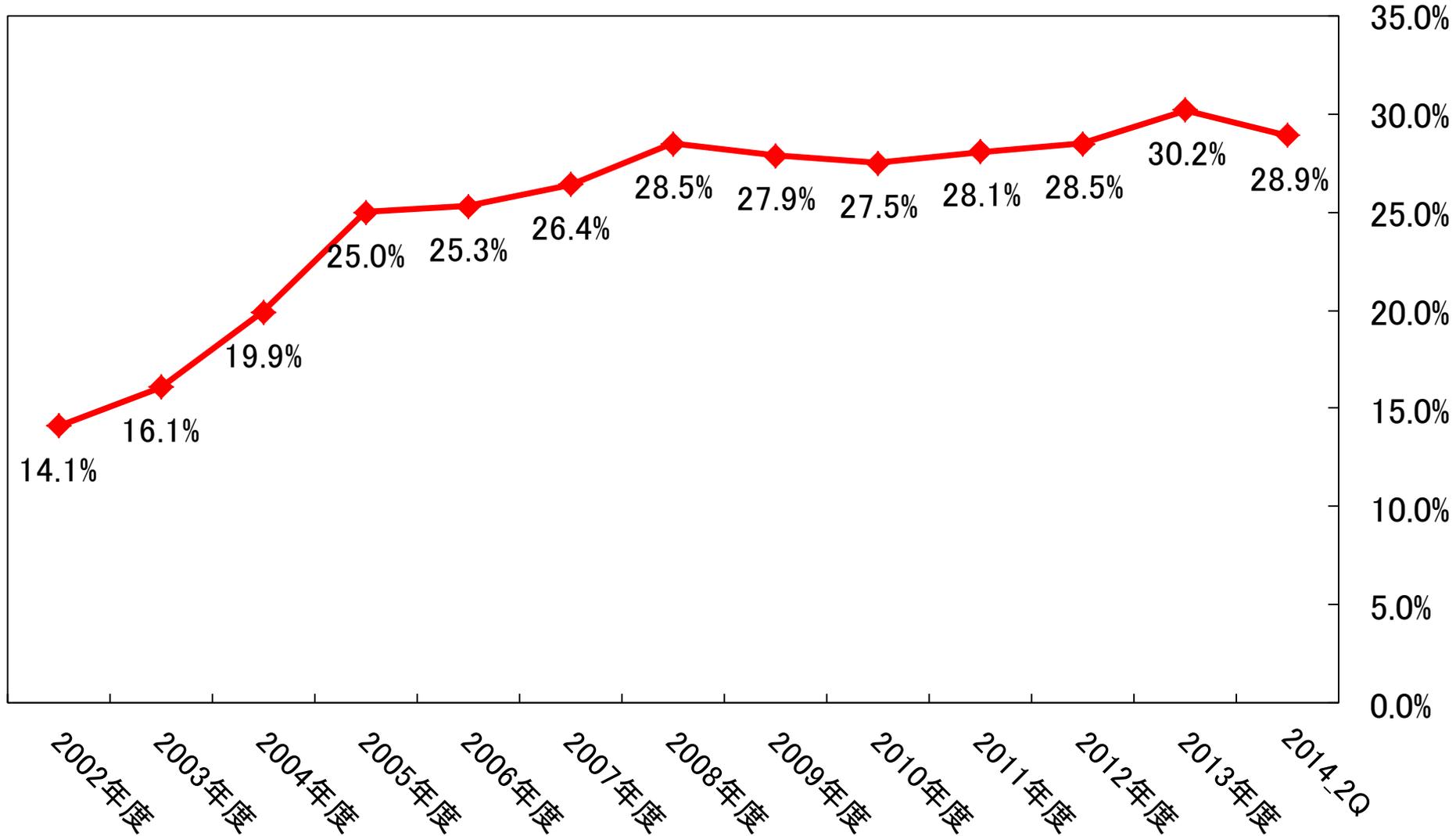
(百万円)

(千口座)



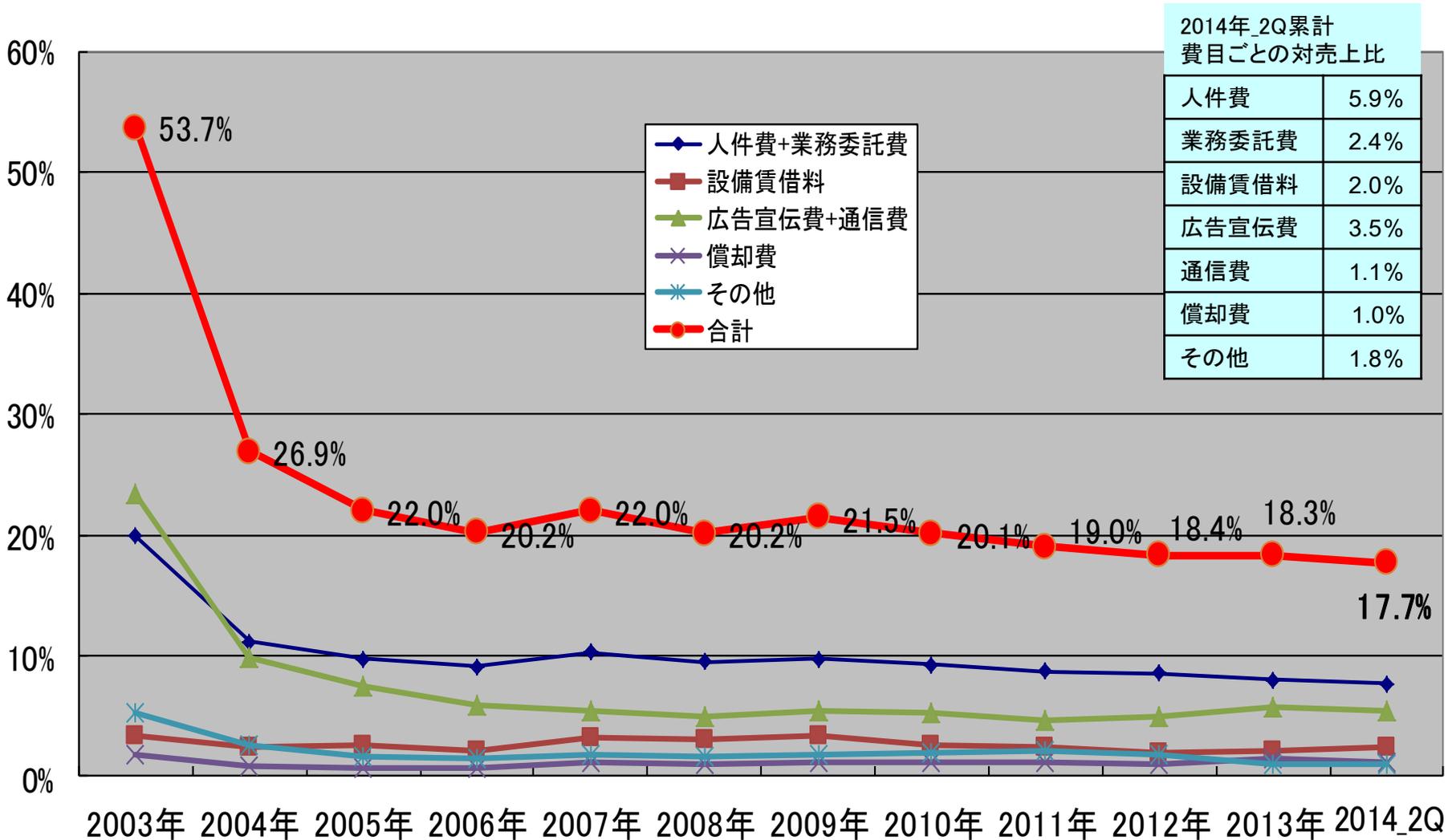
2013年12月 口座数 1,122,291 ⇨ 2014年6月 口座数 1,254,462 (純増数132,171)

【(株)MonotaRO単体】売上総利益率の推移





【(株)MonotaRO単体】販売管理費(対売上高)の推移



2014/12月期

事業計画修正・戦略および進捗



2014年度 事業計画修正 概略



- ◆売上高 44,684百万円 前年比29.3%増 当初計画+2,037百万円
上期の業績を踏まえ、下期においても当初計画を上回る新規投入NBの販売拡大、韓国子会社の売上拡大を想定し、増額修正
- ◆売上総利益 12,910百万円 前年比24.0%増 当初計画+488百万円
売上増加において新規投入NB商品の寄与が当初計画より大きいことを考慮し、通期の売上総利益率の低下を想定。
下期においては、4Q一括計上予定だった米国からのロイヤリティが四半期ごと計上になったことを受け、前記商品ミックスの影響とあわせた低下を想定
利益率向上にむけてPB商品の開発、仕入の最適化など一層の取り組みも行う。
- ◆販売管理費 8,582百万円 前年比31.5%増 当初計画+370百万円
売上増加に伴う変動費の増加に加え、増収分の一部を一層の成長およびそれを支える安定性の確保へ配分すべく、首都圏でのTVCM費用、および新センター効率化、在庫増強に必要な人員に追加投資を行う。
- ◆営業利益 4,327百万円 前年比11.4%増 当初計画+117百万円
以上により新物流センターの稼働という先行投資期においても
営業利益の2桁成長を想定



2014年度 事業計画【連結】



	2013/12期		2014/12期 当初計画		2014/12期 修正計画		
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前年比
売上高	34,556		42,647		44,684		+29.3%
売上総利益	10,410	30.1%	12,422	29.1%	12,910	28.9%	+24.0%
販売管理費	6,525	18.9%	8,212	19.2%	8,582	19.2%	+31.5%
営業利益	3,885	11.2%	4,210	9.9%	4,327	9.7%	+11.4%
経常利益	3,901	11.3%	4,197	9.8%	4,345	9.7%	+11.4%
当期純利益	2,289	6.6%	2,444	5.7%	2,531	5.6%	+10.6%



2014年度 事業計画【MonotaRO単体】



	2013/12期		2014/12期 当初計画		2014/12期 修正計画		
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前年比
(百万円)							
売上高	34,484		42,140		43,920		+27.4%
売上総利益	10,403	30.2%	12,358	29.3%	12,824	29.2%	+23.3%
販売管理費	6,325	18.3%	7,819	18.6%	8,169	18.6%	+29.2%
営業利益	4,077	11.8%	4,538	10.8%	4,654	10.6%	+14.1%
経常利益	4,104	11.9%	4,528	10.7%	4,672	10.6%	+13.8%
当期純利益	2,492	7.2%	2,776	6.6%	2,858	6.5%	+14.7%



1. 新規顧客獲得の推進

- ・月間獲得口座数は23,000件ペースと加速。
- ・一層の認知度向上を目指して今秋2週間首都圏でTVCM放映予定。

2. 農業資材・厨房用品モールの新設

- ・2014年5月に新設モールを開設、取扱い品目の拡大を進め、今秋には同カテゴリの独立したカタログもそれぞれ発刊予定。新規カテゴリ商品の取扱いにより、対象顧客層を拡大するとともに既存顧客の潜在需要に対応、ワンストップショッピングの利便性向上を図り追加・継続購入を促進する。

3. 定期注文サービス拡充

- ・2014年3月にサービスを開始、利用ユーザーが1,000件を超える。
- ・7月に対象商品を11アイテムから47アイテムに拡大し、消耗品の定期購入を軸とした継続的な利用を促進する。

4. 新物流センターの効率化、在庫点数増加

- ・新物流センターは2014年7月に本格稼働を開始。
- ・想定した生産性実現の調整中、今年度中に在庫を20万点に拡大することが課題。その為に当初計画に追加して人的リソースを確保、課題の確実な実行を目指す。



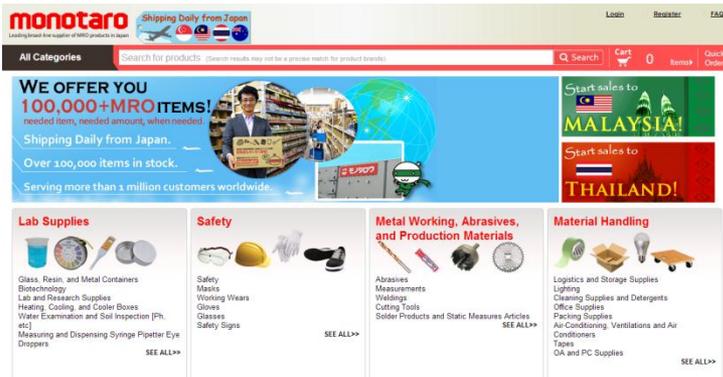
5. 大企業連携の推進

- ・カタログ連携による販売が引き続き順調に進捗し、売上は前年同期の2倍以上、209%の伸長。
- ・連携企業数 2013年12月 120社 → 2014年6月 150社
大塚商会「たのめーるプラス」との連携を開始
- ・当社開発新購買管理システム「One Source」2014年7月1日リリース済み、導入に向けて10社と商談継続中

6. 海外展開

- ・韓国事業は当初計画以上の売上伸長、今期売上計画を7.6億に上方修正。
- ・東南アジア向販売サイトも着実に売上増加。
- ・海外コンサル事業においても、米国が順調に進捗、欧州では2014年7月にドイツ向サイトがオープン

東南アジア向サイト <http://www.monotaro.sg/>



ドイツ向サイト <http://zorotools.de/>



2014/第2四半期 【連結】決算の概要

【連結】



2014年度第2四半期 損益計算書サマリー

	2013年度 2Q_累計		2014年度 2Q_累計		
	金額	売上比	金額	売上比	前年比
(百万円)					
売上高	15,991		21,305		+33.2%
売上総利益	4,915	30.7%	6,130	28.8%	+24.7%
販売管理費	2,853	17.8%	3,911	18.4%	+37.1%
営業利益	2,061	12.9%	2,218	10.4%	+7.6%
経常利益	2,074	13.0%	2,243	10.5%	+8.1%
当期純利益	1,336	8.4%	1,338	6.3%	+0.1%



2014年第2四半期 貸借対照表サマリー

	2013年12月		2014年6月	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比
資産の部				
現預金	4,248	29.3%	2,891	19.0%
流動資産 売掛金	3,760	25.9%	4,158	27.3%
棚卸資産	3,242	22.4%	4,021	26.4%
その他	1,408	9.7%	1,595	10.5%
流動資産合計	12,660	87.3%	12,667	83.2%
有形固定資産	404	2.8%	1,012	6.7%
固定資産 無形固定資産	870	6.0%	950	6.2%
投資その他資産	570	3.9%	589	3.9%
固定資産合計	1,845	12.7%	2,552	16.8%
資産合計	14,505		15,219	

	2013年12月		2014年6月	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比
負債の部				
買掛金	2,667	18.4%	2,684	17.6%
流動負債 短期借入金	1,300	9.0%	1,300	8.5%
その他	2,820	19.4%	2,335	15.3%
流動負債合計	6,787	46.8%	6,319	41.5%
固定負債合計	361	2.5%	514	3.4%
負債合計	7,149	49.3%	6,834	44.9%
純資産の部				
株主資本合計	7,255	50.0%	8,274	54.4%
その他	100	0.7%	110	0.7%
純資産合計	7,355	50.7%	8,385	55.1%
負債・純資産合計	14,505		15,219	

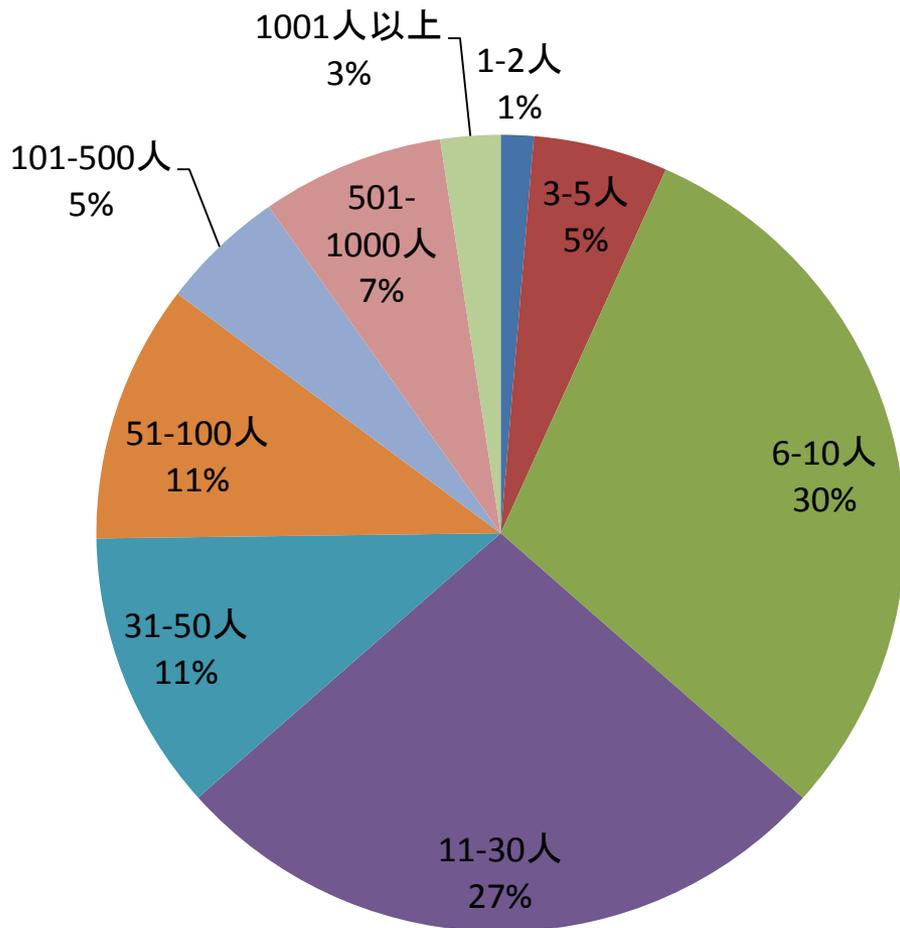

2013年第2四半期 キャッシュフローサマリー

区分 (百万円)	2013年2Q	2014年2Q
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	2,206	2,243
売上債権の増減額	-236	-397
棚卸資産の増減額	-50	-777
仕入債務の増減額 ((-) 減少)	-1	16
その他	-1,190	-1,642
計	728	-557
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	-41	-131
無形固定資産取得による支出	-201	-255
その他	-136	-38
計	-379	-426
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	-242	-364
その他	44	-19
計	-197	-384
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-5	11
IV 現金及び現金同等物の増減額	145	-1,357
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,825	3,948
VI 現金及び現金同等物の期末残高	2,970	2,591

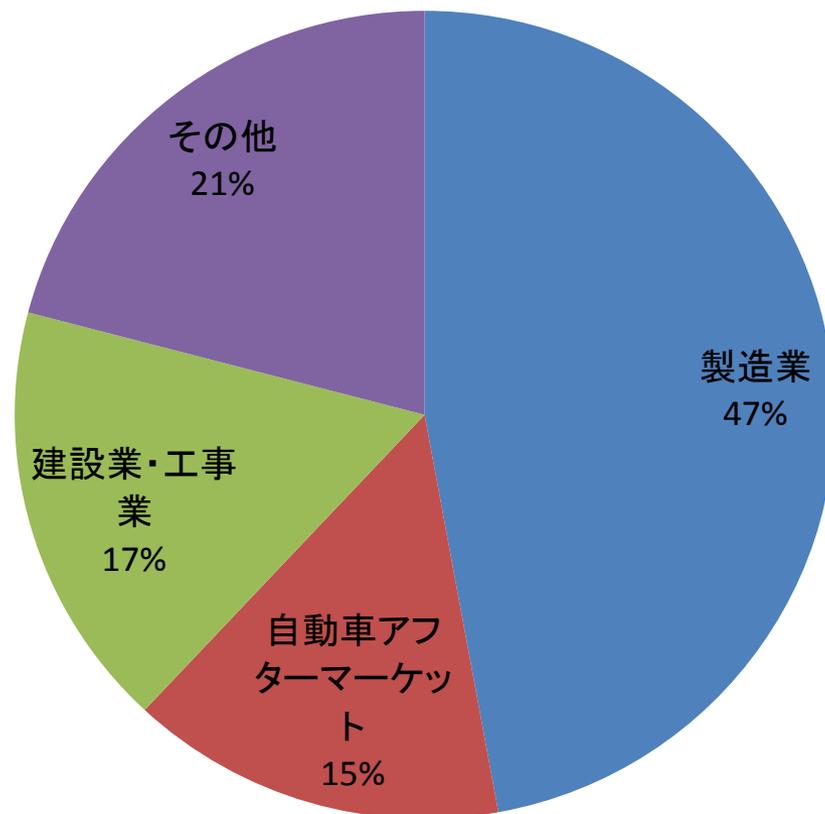
参考資料



顧客の規模



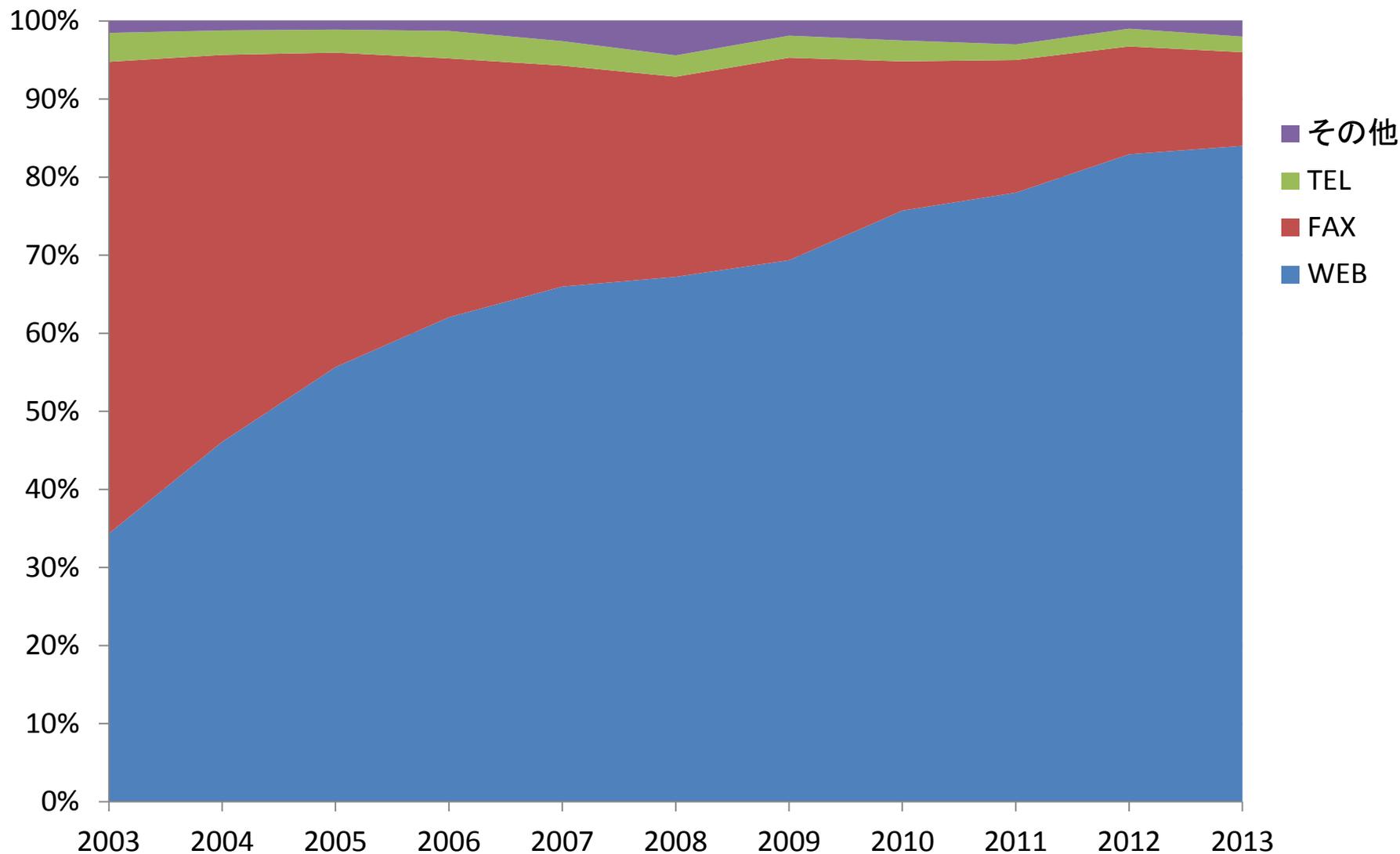
顧客の業種



2013年売上ベース



注文方法比率推移



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先

IR・広報室
Tel:06-4869-7190
Fax:06-4869-7178
Mail: pr@monotaro.com